

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
	2. 一次判定の仕組み	○		1 要介護認定等基準時間の推計の考え方	-
				2 要介護認定等基準時間の算出方法	-
	3. 二次判定の仕組み	○		1 二次判定の基本的な方法	-
				2 介護認定審査会における審査・判定の手順	-
				3 二次判定のポイント	-
	4. 介護支援サービス(ケアマネジメント)機能論	1 介護支援サービス(ケアマネジメント)機能論	○		1 介護保険制度における介護支援サービス(ケアマネジメント)
2 介護支援サービスの基本的理念、意義等					1 要介護者等とその世帯の主体性尊重の仕組み 2 自立支援、多様な生活を支えるサービスの視点 3 家族(介護者)への支援の必要性 4 保健・医療・福祉サービスを統合したサービス調整の視点 5 サービスの展開におけるチームアプローチの視点 6 適切なサービス利用(効果性、効率性)の視点 7 保健・医療・福祉サービス(保険給付サービス等)とインフォーマルサポートを統合する社会資源調整の視点
3 介護支援専門員の基本姿勢					-
4 介護支援専門員の役割・機能					1 利用者本位の徹底 2 チームアプローチの実施-総合的判断と協働 3 居宅サービス計画に基づくサービス実施状況のモニタリングと計画の修正 4 サービス実施体制におけるマネジメントの情報提供と秘密保持 5 信頼関係の構築 6 社会資源の開発
5 介護支援サービスの記録					-
2 介護支援サービス(ケアマネジメント)方法論		○		1 居宅介護支援サービスの開始過程	-
				2 居宅サービス計画作成のための課題分析	-
				3 居宅サービス計画作成指針	-
				4 モニタリングおよび居宅サービス計画での再課題分析	-

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
5. 高齢者支援展開論 (高齢者介護総論)	1. 総論 I 医学編		○	1 高齢者の身体的・精神的特徴と高齢期に多い疾病および障害	1 高齢者の身体的・精神的・心理的特徴 2 高齢者に起こりやすい疾病および障害の特徴 3 高齢者に多くみられる各種の疾患
				2 バイタルサインの正確な観察・測定、解釈・分析	1 全身の観察とバイタルサイン 2 バイタルサインの正しい観察・測定方法とポイント
				3 検査の意義およびその結果の把握、患者指導	1 検査値の変動について 2 検査各論
				4 介護技術の展開	1 身体介護と家事援助の関連 2 食事の介護 3 排泄および失禁の介護 4 褥瘡への対応 5 睡眠の介護 6 清潔の介護 7 口腔のケア
				5 ケアにおけるリハビリテーション	1 リハビリテーションの考え方 2 リハビリテーションの基礎知識 3 リハビリテーションの実際(訓練と援助の実際)
				6 痴呆性高齢者の介護	1 老人性痴呆症の特徴、病態 2 痴呆性高齢者・家族への援助と介護支援サービス
				7 精神に障害のある場合の介護	1 高齢者の精神障害 2 精神に障害のある高齢者の介護
				8 医学的診断・治療内容・予後の理解	1 医学的診断の理解 2 治療内容の理解 3 予後の理解
				9 現状の医学的問題、起こりうる合併症、医師、歯科医師への連絡・情報交換	1 現状の医学的問題のとらえ方 2 起こりうる合併症の理解 3 医師、歯科医師への連絡・情報交換
				10 栄養・食生活からの支援・介護	1 人間らしい栄養・食生活とは 2 栄養・食生活からの介護の手順 3 望ましい栄養・食生活をめざして提示されている食生活指針等
				11 呼吸管理、その他の在宅医療管理	1 呼吸管理の考え方 2 その他の在宅医療管理
				12 感染症の予防	1 感染症の種類と特徴 2 起こりやすい感染症の予防と看護・介護
				13 医療器具を装着している場合の留意点	1 在宅酸素療法(HOT) 2 気管内挿管 3 人工呼吸器 4 腹膜透析 5 在宅中心静脈栄養法 6 内視鏡的胃瘻増設術(PEG) 7 ペースメーカー
				14 急変時の対応	1 高齢者救急疾患の病態上の特徴 2 主な急変時の対応 3 在宅看護・介護で遭遇しやすい急変
				15 健康増進・疾病障害の予防	1 基本理念 2 生活習慣病の予防

区分	大項目				中項目	小項目
		A	B	C		
						3 がん 4 循環器疾患 5 糖尿病 6 骨粗しょう症 7 第二次国民健康づくり対策
	2. 総論Ⅱ 福祉編			○	1 基礎相談・面接技術	1 基本姿勢 2 コミュニケーションの知識と技術 3 インテークワーク技術 4 隠されたニーズの発見
					2 ソーシャルワークとケアマネジメント(介護支援サービス)	—
					3 ソーシャルワーク(社会福祉専門援助技術)の概要	1 個別援助技術(ソーシャルケースワーク) 2 集団援助技術(ソーシャルグループワーク) 3 地域援助技術(コミュニティワーク)
					4 接近困難事例への対応	1 援助困難事例への対応 2 接近困難事例と問題状況の分類 3 接近困難事例の理解とアプローチ
	3. 総論Ⅲ 臨死編			○	1 チームアプローチの必要性および各職種の役割	—
					2 高齢者のターミナルケアの実際、家族へのケア	1 事例の概要 2 在宅での看取りの成立条件 3 在宅ホスピスにおける症状緩和 4 死の教育 5 在宅ホスピスとQOL
					3 死亡診断	1 死亡に医師が立ち会っているとき 2 医師が立ち会っていないとき 3 精神面からみたターミナルケア

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
6. 高齢者支援展開論 (居宅サービス事業 各論)	1. 訪問介護方法論		○	1 訪問介護の意義・目的	—
				2 訪問介護サービス利用者の特性	—
				3 訪問介護の内容・特徴	—
				4 介護支援サービスと訪問看護	—
	2. 訪問入浴介護方法論		○	1 訪問入浴介護の意義・目的	—
				2 訪問入浴介護サービス利用者の特性	—
				3 訪問入浴介護の内容・特徴	—
				4 介護支援サービスと訪問入浴介護	—
	3. 訪問看護方法論		○	1 訪問看護の意義・目的	—
				2 訪問看護サービス利用者の特性	—
				3 訪問看護の内容・特徴	—
				4 介護支援サービスと訪問看護	—
	4. 訪問リハビリテーション 方法論		○	1 訪問リハビリテーションの意義・目的	—
				2 訪問リハビリテーションサービス利用者の特性	—
				3 訪問リハビリテーションの内容・特徴	—
				4 介護支援サービスと訪問リハビリテーション	—
	5. 居宅療養管理指導方法 論		○	1 医学的管理サービスの意義・目的	—
				2 医学的管理サービス利用者の特性	—
				3 介護支援サービスと医学的管理サービス	—
				4 口腔管理—歯科衛生指導の意義・目的	—
				5 口腔管理—歯科衛生指導利用者の特性	—
				6 介護支援サービスと口腔管理—歯科衛生指導	—
				7 薬剤管理指導の意義・目的	—
				8 薬剤管理指導利用者の特性	—
				9 介護支援サービスと薬剤管理指導	—
	6. 通所介護方法論		○	1 通所介護の意義・目的	—
				2 通所介護サービス利用者の特性	—
				3 通所介護の内容・特徴	—
4 介護支援サービスと通所介護				—	
7. 通所リハビリテーション 方法論		○	1 通所リハビリテーションの意義・目的	—	
			2 通所リハビリテーションサービス利用者の特性	—	
			3 通所リハビリテーションの内容・特徴	—	

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
	8. 短期入所生活介護方法論		○	4 介護支援サービスと通所リハビリテーション	-
				1 短期入所生活介護の意義・目的	-
				2 短期入所生活介護サービス利用者の特性	-
				3 短期入所生活介護の内容・特徴	-
	9. 短期入所療養介護方法論		○	4 介護支援サービスと短期入所生活介護	-
				1 短期入所療養介護の意義・目的	-
				2 短期入所療養介護サービス利用者の特性	-
				3 短期入所療養介護の内容・特徴	-
	10. 痴呆対応型共同生活介護方法論		○	4 介護支援サービスと短期入所療養介護	-
				1 痴呆対応型共同生活介護の意義・目的	-
				2 痴呆対応型共同生活介護サービス利用者の特性	-
				3 痴呆対応型共同生活介護の内容・特徴	-
	11. 特定施設入所者生活介護方法論		○	4 介護支援サービスと痴呆対応型生活介護	-
				1 特定施設入所者生活介護の意義・目的	-
				2 特定施設入所者生活介護サービス利用者の特性	-
				3 特定施設入所者生活介護の内容・特徴	-
	12. 福祉用具及び住宅改修方法論		○	4 介護支援サービスと特定施設入所者生活介護	-
				1 福祉用具の意義・目的	-
				2 福祉用具利用者の特性および福祉用具の機能、使用法	-
				3 福祉用具の内容・特徴	-
4 介護支援サービスと福祉用具				-	
5 住宅改修の意義・目的				-	
6 住宅改修利用者の特性および住宅改修の機能、使用法				-	
7 住宅改修の内容・特徴				-	
7. 高齢者支援展開論 (介護保険施設各論)	1. 指定介護老人福祉施設サービス方法論		○	8 介護支援サービスと住宅改修	-
	1 指定介護老人福祉施設の意義・目的			-	
2. 介護老人保健施設サービス方法論		○	2 指定介護老人福祉施設サービス利用者の特性	-	
			3 指定介護老人福祉施設の内容・特徴	-	
			1 介護老人保健施設の意義・目的	-	
2. 介護老人保健施設サービス方法論		○	2 介護老人保健施設サービス利用者の特性	-	
			3 指定介護老人保健施設の内容・特徴	-	

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
	3. 指定介護療養型医療施設サービス方法論		○	1 指定介護療養型医療施設の意義・目的	—
				2 指定介護療養型医療施設サービス利用者の特性	—
				3 指定介護老人療養型医療施設の内容・特徴	—
				4 老人性痴呆疾患療養病棟の意義・目的	—
				5 老人性痴呆疾患療養病棟利用者の特性	—
				6 老人性痴呆疾患療養病棟の特徴・内容	—
8. 高齢者支援展開論 (社会資源活用論)	1. 公的サービスおよびその他の社会資源導入方法論		○	1 自立支援のための総合的ケアネットワークの必要性	—
				2 社会資源間での機能や役割の相違	—
				3 フォーマルな分野とインフォーマルな分野の連携の必要性	—

(注1)「大項目」欄のA～Cについては、下記のとおり「(解答免除範囲)区分」を示すもの。

- A 「介護支援分野」
- B 「保健医療福祉サービス分野」中、保健医療サービス分野の知識等
- C 「保健医療福祉サービス分野」中、福祉サービス分野の知識等

(注2)この表に掲げる項目は、介護保険法及び関連法令に規定されたものとし、通知により示されたものは含まない。

(別紙2)

(平成12年度～)(案)

※今後の検討状況により若干の変更が有り得る。

区分	大項目	中項目			小項目
		A	B	C	
1. 基本視点	介護保険制度導入の要 1. 要	高齢化の進展と高齢者を取り巻く状況の変化			1 長寿・高齢化の進展 2 高齢化の進展に伴う要介護高齢者の増加 3 介護の長期化・重症化 4 家族の介護負担の低下 5 個人の人生にとっての介護問題 6 家族にとっての介護問題 7 社会にとっての介護問題
		2 要介護制度の位置			1 要介護制度 2 老人福祉制度 3 制度間の不整合 4 現行制度のあり方 5 給付と負担の関係の明確性 6 利用者の選択の尊重
2. 介護保険制度	介護保険と介護支援 サービス	3 社会保険方式の意義			1 労務型の社会保険制度のあり方 2 給付と負担の関係の明確性 3 利用者の選択の尊重
		4 介護保険制度創設のねらい			1 介護という新たな課題への対応 2 効率的、公平な制度の創設 3 サービス利用者の立場に立った制度体系 4 民間活力の活用 5 高齢者の健康増進としての位置づけ
3. 介護保険制度	1. 介護保険制度の目的等	1 介護保険制度の目的等			1 社会保険、社会保険、介護保険の体系 2 医療保険の体系 3 高齢者の健康・医療・福祉の体系 4 介護保険制度の目的 5 保険事故と保険給付の基本的理念 6 国民の努力および義務
		2 保険者及び国、都道府県の責務等			1 保険者 2 保険者の事務 3 介護保険の会計 4 条例 5 国の責務、事務 6 都道府県の責務、事務 7 医療保険者および年金保険者の事務 8 審議会
		3 被保険者			1 被保険者の概念 2 強制適用 3 被保険者の資格要件 4 住所認定の基準 5 適用除外 6 家族連帯の時期

(平成10～11年度)

区分	大項目	中項目			小項目
		A	B	C	
1. 基本視点	介護保険制度導入の要 1. 要	高齢化の進展と高齢者を取り巻く状況の変化			1 長寿・高齢化の進展 2 高齢化の進展に伴う要介護高齢者の増加 3 介護の長期化・重症化 4 家族の介護負担の低下 5 個人の人生にとっての介護問題 6 家族にとっての介護問題 7 社会にとっての介護問題
		2 現行制度の問題点			1 老人福祉 2 医療 3 制度間の不整合 4 現行制度のあり方 5 給付と負担の関係の明確性 6 利用者の選択の尊重
2. 介護保険制度	介護保険における介護 支援サービスの基本理 念	3 社会保険方式の意義			1 労務型の社会保険制度のあり方 2 給付と負担の関係の明確性 3 利用者の選択の尊重
		4 介護保険制度創設のねらい			1 介護という新たな課題への対応 2 効率的、公平な制度の創設 3 サービス利用者の立場に立った制度体系 4 民間活力の活用 5 高齢者の健康増進としての位置づけ
3. 介護保険制度	1. 介護保険制度の目的等	1 介護保険の目的等			1 社会保険、社会保険、介護保険の体系 2 医療保険の体系 3 高齢者の健康・医療・福祉の体系 4 介護保険制度の目的 5 保険事故と保険給付の基本的理念 6 国民の努力および義務
		2 保険者及び国、都道府県の責務等			1 保険者 2 保険者の事務 3 介護保険の会計 4 条例 5 国の責務、事務 6 都道府県の責務、事務 7 医療保険者および年金保険者の事務 8 審議会
		3 被保険者			1 被保険者の概念 2 強制適用 3 被保険者の資格要件 4 住所認定の基準 5 適用除外 6 家族連帯の時期

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
					7 資格喪失の時期 8 届出 9 住所特例 10 差保険者証 4 保険給付の手続・種類・内容 1 要介護認定および要支援認定 2 要介護認定等の手続 3 介護認定審査会 4 保険給付通則 5 保険給付の種類 6 保険給付の内容 7 介護報酬 8 支給限度額 9 現物給付 10 審査・支払い 11 利用者負担 12 保険給付の制限 5 事業者および施設 1 指定居宅サービス事業者 2 指定居宅介護支援事業者 3 介護支援専門員 4 基幹担当サービスの事業者 5 障害等における担当サービスの事業者 6 介護保険施設 1 基本指針 2 老人保健福祉計画、医療計画との関係 3 市町村介護保険事業計画 4 都道府県介護保険事業支援計画 7 保険財政 1 財政構造 2 事務費 3 その他の補助 4 第1号被保険者に係る保険料 5 介護給付費交付金および介護給付費交付金 6 第2号被保険者に係る保険料 7 支払基金の業務 8 財政安定化基金等 1 財政安定化基金事業 2 市町村相互財政安定化事業 9 保険福祉事業

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
					7 資格喪失の時期 8 届出 9 住所特例 10 差保険者証 4 保険給付の手続・種類・内容 1 要介護認定および要支援認定 2 要介護認定等の手続 3 介護認定審査会 4 保険給付通則 5 保険給付の種類 6 保険給付の内容 7 介護報酬 8 支給限度額 9 現物給付 10 審査・支払い 11 利用者負担 12 保険給付の制限 5 事業者および施設 1 指定居宅サービス事業者 2 指定居宅介護支援事業者 3 介護支援専門員 4 基幹担当サービスの事業者 5 障害等における担当サービスの事業者 6 介護保険施設 6 介護保険事業計画 1 基本指針 2 老人保健福祉計画、医療計画との関係 3 市町村介護保険事業計画 4 都道府県介護保険事業支援計画 7 保険財政 1 財政構造 2 事務費 3 その他の補助 4 第1号被保険者に係る保険料 5 介護給付費交付金および介護給付費交付金 6 第2号被保険者に係る保険料 7 支払基金の業務 8 財政安定化基金等 1 財政安定化基金事業 2 市町村相互財政安定化事業 9 保険福祉事業

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
				10 関係機関等関係業務 関係機関等関係業務の介 紹 審査・支払い 給付審査委員会 苦情処理等の業務 第三者行為求償事務 その他の業務	1 審査・支払い 2 給付審査委員会 3 苦情処理等の業務 4 第三者行為求償事務 5 その他の業務
				11 審査請求 審査請求 審査請求ができる事項 介体保険審査会 委員 審理議決を扱う合議体 専門調査員 訴訟との関係	1 訴訟 2 審査請求ができる事項 3 介体保険審査会 4 委員 5 審理議決を扱う合議体 6 専門調査員 7 訴訟との関係
				12 補助 報告の徴収等 先取特権の順位 時効等 資料の提供等	1 報告の徴収等 2 先取特権の順位 3 時効等 4 資料の提供等
				13 施行細則に要件等準拠行為 -	-
				14 検討附定 (附則) 要介護認定および要支援認定の ための調査票 主事の医師による医学的評価の 必要性の意見 要介護状態の審査および程度に よる審査 要介護認定および要支援認定の 処理	1 要介護認定および要支援認定の ための調査票 2 主事の医師による医学的評価の 必要性の意見 3 要介護状態の審査および程度に よる審査 4 要介護認定および要支援認定の 処理

要介護認定の手法等の重要性を
鑑み、再構成する。

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
				10 関係機関等関係業務 関係機関等関係業務の介 紹 審査・支払い 給付審査委員会 苦情処理等の業務 第三者行為求償事務 その他の業務	1 審査・支払い 2 給付審査委員会 3 苦情処理等の業務 4 第三者行為求償事務 5 その他の業務
				11 審査請求 審査請求 審査請求ができる事項 介体保険審査会 委員 審理議決を扱う合議体 専門調査員 訴訟との関係	1 訴訟 2 審査請求ができる事項 3 介体保険審査会 4 委員 5 審理議決を扱う合議体 6 専門調査員 7 訴訟との関係
				12 補助 報告の徴収等 先取特権の順位 時効等 資料の提供等	1 報告の徴収等 2 先取特権の順位 3 時効等 4 資料の提供等
				13 検討規定 (附則) -	-
3. 要介護・要支援認定特例	1. 要介護認定の進め方	Q		1 要介護認定基準について 2 調査票 3 主治医直筆 4 二次審査の取組 5 介護審査委員会における二次評 定の取組 1 要介護認定基準取組の取組の 進め方 2 要介護認定基準取組の取組の 進め方 1 二次審査の取組方法 2 介護審査委員会における審査 認定の手順 3 二次審査の取組	- - - - - - - - - - - - - - -

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
5. 高齢者支援展開計画	1. 高齢者介護施設1			高齢者の身体的・精神的な特徴 1 高齢者に起こりやすい疾病および障害の 特徴 2 高齢者に多くみられる各種の疾患	1 高齢者の身体的・精神的・心理的特徴 2 高齢者に起こりやすい疾病および障害の 特徴 3 高齢者に多くみられる各種の疾患
				バイタルサインの正確な観察・ 測定、解釈、分析	1 全身の観察とバイタルサイン 2 バイタルサインの正しい観察・測定方法 とポイント
				検査の結果およびその結果の把握、 患者指導	1 検査の種類とバイタルサインについて 2 検査名称 3 検査の結果およびその結果の把握 とポイント
				介護技術の展開	1 身体介護と食事援助の関連 2 食事の介護 3 排泄および失禁の介護 4 褥瘡への対応 5 嚥下の介護 6 口腔の介護 7 口腔のケア
				ケアにおけるリハビリテーション	1 リハビリテーションの考え方 2 リハビリテーションの基礎知識 3 リハビリテーションの実践（訓練と援助 の実際）
				病状変化高齢者の介護	1 老人は痴呆症の特徴、病態 2 痴呆症高齢者・家族への援助と介護支援 ケア・サービス
				精神に障害のある場合の介護	1 高齢者の精神障害 2 精神に障害のある高齢者の介護
				医学的診断・治療内容・予後の 理解	1 医学的診断の理解 2 治療内容の理解 3 予後の理解
				現状の医学的問題、起こりうる 合併症、医師、歯科医師への連絡、 情報交換	1 現状の医学的問題のとらえ方 2 起こりうる合併症の理解 3 医師、歯科医師への連絡・情報交換
				栄養・食生活からの支援・介護	1 人間らしい栄養・食生活とは 2 栄養・食生活からの介護の手順 3 望ましい栄養・食生活をめざして提示さ れている食生活指針等
				呼吸管理、その他の在宅医療 管理	1 呼吸管理の考え方 2 その他の在宅医療管理
				感染症の予防	1 感染症の種類と特徴 2 起こりやすい感染症の予防と看護・介護
				医療器具を装着している場合の 留意点	1 在宅酸素療法 (HOT) 2 気管内挿管 3 人工呼吸器 4 経腸栄養 5 在宅中心静脈栄養法 6 内視鏡的胃腸管造設術 (PEG) 7 ペースメーカー
				急変時の対応	1 高齢者緊急処置の病態上の特徴 2 主な急変時の対応 3 在宅看護・介護で遭遇しやすい急変

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
5. (高齢者支援展開計画)	1. 高齢者介護施設1			高齢者の身体的・精神的な特徴 1 高齢者に起こりやすい疾病および障害の 特徴 2 高齢者に多くみられる各種の疾患	1 高齢者の身体的・精神的・心理的特徴 2 高齢者に起こりやすい疾病および障害の 特徴 3 高齢者に多くみられる各種の疾患
				バイタルサインの正確な観察・ 測定、解釈、分析	1 全身の観察とバイタルサイン 2 バイタルサインの正しい観察・測定方法 とポイント
				検査の結果およびその結果の把握、 患者指導	1 検査の種類とバイタルサインについて 2 検査名称 3 検査の結果およびその結果の把握 とポイント
				介護技術の展開	1 身体介護と食事援助の関連 2 食事の介護 3 排泄および失禁の介護 4 褥瘡への対応 5 嚥下の介護 6 口腔の介護 7 口腔のケア
				ケアにおけるリハビリテーション	1 リハビリテーションの考え方 2 リハビリテーションの基礎知識 3 リハビリテーションの実践（訓練と援助 の実際）
				病状変化高齢者の介護	1 老人は痴呆症の特徴、病態 2 痴呆症高齢者・家族への援助と介護支援 ケア・サービス
				精神に障害のある場合の介護	1 高齢者の精神障害 2 精神に障害のある高齢者の介護
				医学的診断・治療内容・予後の 理解	1 医学的診断の理解 2 治療内容の理解 3 予後の理解
				現状の医学的問題、起こりうる 合併症、医師、歯科医師への連絡、 情報交換	1 現状の医学的問題のとらえ方 2 起こりうる合併症の理解 3 医師、歯科医師への連絡・情報交換
				栄養・食生活からの支援・介護	1 人間らしい栄養・食生活とは 2 栄養・食生活からの介護の手順 3 望ましい栄養・食生活をめざして提示さ れている食生活指針等
				呼吸管理、その他の在宅医療 管理	1 呼吸管理の考え方 2 その他の在宅医療管理
				感染症の予防	1 感染症の種類と特徴 2 起こりやすい感染症の予防と看護・介護
				医療器具を装着している場合の 留意点	1 在宅酸素療法 (HOT) 2 気管内挿管 3 人工呼吸器 4 経腸栄養 5 在宅中心静脈栄養法 6 内視鏡的胃腸管造設術 (PEG) 7 ペースメーカー
				急変時の対応	1 高齢者緊急処置の病態上の特徴 2 主な急変時の対応 3 在宅看護・介護で遭遇しやすい急変

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
				15 健康増進・疾病障害の予防	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本理念 2 生活習慣病の予防 3 がん 4 感染症疾患 5 糖尿病 6 骨粗しょう症 7 第二次脳卒中二次予防対策
				2. 高齢者介護総論Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本姿勢 2 コミュニケーションの知識と技術 3 インターワーク技術 4 働き方改革の発見
					<ul style="list-style-type: none"> 1 個別援助技術 (ソーシャルケースワーカー) 2 集団援助技術 (ソーシャルグループワーカー) 3 地域援助技術 (コミュニティワーカー)
				3. 終論Ⅲ 臨死期	<ul style="list-style-type: none"> 1 在宅での看取りの成立条件 2 在宅ホスピスにおける症状緩和 3 死の教育 4 死の教育 5 在宅ホスピスとQOL
					<ul style="list-style-type: none"> 1 死に医師が立ち会っているとき 2 医師が立ち会っていないとき 3 精神面からみたターミナルケア

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
				15 健康増進・疾病障害の予防	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本理念 2 生活習慣病の予防 3 がん 4 感染症疾患 5 糖尿病 6 骨粗しょう症 7 第二次脳卒中二次予防対策
				2. 終論Ⅱ 臨死期	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本姿勢 2 コミュニケーションの知識と技術 3 インターワーク技術 4 働き方改革の発見
					<ul style="list-style-type: none"> 1 個別援助技術 (ソーシャルケースワーカー) 2 集団援助技術 (ソーシャルグループワーカー) 3 地域援助技術 (コミュニティワーカー)
				3. 終論Ⅲ 臨死期	<ul style="list-style-type: none"> 1 在宅での看取りの成立条件 2 在宅ホスピスにおける症状緩和 3 死の教育 4 死の教育 5 在宅ホスピスとQOL
					<ul style="list-style-type: none"> 1 死に医師が立ち会っているとき 2 医師が立ち会っていないとき 3 精神面からみたターミナルケア

区分	大項目	中項目			小項目
		A	B	C	
高齢者支援施設 （居宅サービス事業 実施）	1. 訪問介護方法論	1. 訪問介護の意義・目的	○	1. 訪問介護の意義・目的	(省略)
		2. 訪問介護サービスの利用者の特性		2. 訪問介護利用者の特性	(省略)
		3. 訪問介護の役割・効果		3. 健康・疾病・要介護の程度に対応する入浴介護の要点	(省略)
		4. 介護支援サービスと訪問介護		4. 訪問介護と介護支援サービスの連携と方法	(省略)
	2. 訪問入浴介護方法論	1. 訪問入浴介護の意義・目的	○	1. 訪問入浴介護の意義・目的	(省略)
		2. 訪問入浴介護サービスの利用者の特性		2. 訪問入浴利用者の特性	(省略)
		3. 訪問入浴介護の役割・効果		3. 健康・疾病・要介護の程度に対応する入浴介護の要点	(省略)
		4. 介護支援サービスと訪問入浴介護		4. 介護サービスの連携と方法	(省略)
	3. 訪問看護方法論	1. 訪問看護の意義・目的	○	1. 訪問看護の意義・目的	(省略)
		2. 訪問看護サービスの利用者の特性		2. 訪問看護の意義	(省略)
		3. 訪問看護の役割・効果		3. 訪問看護の対象者	(省略)
		4. 訪問看護サービスと訪問入浴介護		4. 訪問看護の内容	(省略)
	4. 訪問リハビリテーション方法論	1. 訪問リハビリテーションの意義・目的	○	1. 訪問看護の意義・目的	(省略)
		2. 訪問リハビリテーションサービスの利用者の特性		2. 訪問看護の意義	(省略)
		3. 訪問リハビリテーションの役割・効果		3. 訪問看護の対象者	(省略)
		4. 訪問リハビリテーションサービスと訪問入浴介護		4. 訪問看護の内容	(省略)
	5. 居宅介護支援方法論	1. 居宅介護支援サービスの意義・目的	○	5. 訪問看護の要点	(省略)
		2. 居宅介護支援サービスの利用者の特性		5. 訪問看護と介護支援サービスの連携と方法	(省略)
		3. 居宅介護支援サービスの役割・効果		1. 意義・目的	(省略)
		4. 居宅介護支援サービスと訪問入浴介護		2. 実施の目的	(省略)
	6. 通所介護方法論	1. 通所介護の意義・目的	○	2. 実施の目的	(省略)
		2. 通所介護サービスの利用者の特性		3. 実施の目的	(省略)
		3. 通所介護の役割・効果		4. 実施の目的	(省略)
		4. 通所介護サービスと訪問入浴介護		5. 実施の目的	(省略)
	7. 訪問リハビリテーション方法論	1. 訪問リハビリテーションの意義・目的	○	6. 実施の目的	(省略)
		2. 訪問リハビリテーションサービスの利用者の特性		7. 実施の目的	(省略)
		3. 訪問リハビリテーションの役割・効果		8. 実施の目的	(省略)
		4. 訪問リハビリテーションサービスと訪問入浴介護		9. 実施の目的	(省略)

各論については、中項目までの分類とする。
※このため表紙上も構成を統一した。

「訪問リハビリテーション」、「通所リハビリテーション」への区分けを行う。

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
高齢者支援関係開論 (社会資源活用 編)	公的サービスおよび 1. その他の社会資源等 入方法論	○		老人性痴呆症介護実践者 5 の特性	-
				老人性痴呆症介護実践者の 6 職上内容	-
高齢者支援関係開論 (社会資源活用 編)	公的サービスおよび 1. その他の社会資源等 入方法論	○	自立支援のための総合的ケア 1 ネットワークの必要性 2 社会資源間での機能や役割の相 3 マルチ分野とインフォーマ ルな分野の連携の必要性	老人性痴呆症介護実践者 5 の特性	-
				医療・疾病・要介護の程度に 6 応ずる老人性痴呆症介護実践 者の地点	-
				自立支援のための総合的ケア 1 ネットワークの必要性	-
				社会資源間での機能や役割の相 2 差	-
				フォーマルな分野とインフォー 3 マルな分野の連携の必要性	-

(注1)「大項目」欄のA-Cについては、下記のとおり(解答免除範囲)区分を示すもの。

- A 「介護支援分野」
- B 「保健医療福祉サービス分野」中、保健医療サービス分野の知識等
- C 「保健医療福祉サービス分野」中、福祉サービス分野の知識等

(注2)この表に掲げる項目は、介護保険法及び介護保険法及び介護保険法に規定されたものとし、通知により示されたものは含まない。

区分	大項目			中項目	小項目
	A	B	C		
高齢者支援関係開論 (社会資源活用 編)	公的サービスおよび 1. その他の社会資源等 入方法論	○		老人性痴呆症介護実践者 5 の特性	(省略)
				医療・疾病・要介護の程度に 6 応ずる老人性痴呆症介護実践 者の地点	(省略)
高齢者支援関係開論 (社会資源活用 編)	公的サービスおよび 1. その他の社会資源等 入方法論	○	自立支援のための総合的ケア 1 ネットワークの必要性 2 社会資源間での機能や役割の相 3 マルチ分野とインフォー ルな分野の連携の必要性	老人性痴呆症介護実践者 5 の特性	(省略)
				医療・疾病・要介護の程度に 6 応ずる老人性痴呆症介護実践 者の地点	(省略)
				自立支援のための総合的ケア 1 ネットワークの必要性	(省略)
				社会資源間での機能や役割の相 2 差	(省略)
				フォーマルな分野とインフォー 3 マルな分野の連携の必要性	(省略)